



学校法人 弘徳学園
姫路大学
豊岡短期大学
こうのとり認定こども園

2019年度 事業計画書

学校法人 弘徳学園

I 法人の概要

(1) 学園設立とあゆみ

学校法人弘徳学園は、平成16年4月に学校法人近畿大学から、近畿大学豊岡短期大学（同通信教育部）及び同附属幼稚園を母体として分離・独立しました。

そして、多年の懸案であった看護系の四年制大学、「近大姫路大学看護学部看護学科」を平成19年4月に開学、翌平成20年4月に「近大姫路大学教育学部こども未来学科及び同通信教育課程」を増設しました。結果、本学園は独立4年目にして、姫路市及び豊岡市に2つのキャンパスを有し、近大姫路大学の2学部2学科に、教育学部通信教育課程を加え、近畿大学豊岡短期大学こども学科及び同通信教育部並びに同短大附属幼稚園等を運営する学園となりました。

そして、平成26年度には地域の子育て支援のために、既存の幼稚園の他に「このとり保育園」を開園し、幼保連携型認定こども園をスタートさせましたが、この認定こども園は、子ども・子育て支援新制度による新しい幼保連携型認定こども園として平成27年度に新たに認可を受け、既存の幼稚園と保育園を廃止し新たな「このとり認定こども園」として運営しています。

本法人は、文部科学省の認可を受け、平成28年4月1日から法人等の名称を、「学校法人近畿大学弘徳学園」から「学校法人弘徳学園」、大学名を「近大姫路大学」から「姫路大学」、短期大学名を「近畿大学豊岡短期大学」から「豊岡短期大学」に変更するとともに、法人本部所在地を豊岡キャンパスから姫路キャンパスへ移しました。

平成28年8月に文部科学省から、「姫路大学大学院看護学研究科」設置の認可を受け、平成29年4月1日に開設しました。

さらに大学院では、博士後期課程への専攻課程変更の認可を平成30年11月に文部科学省から受け、平成31年4月1日開設いたします。

(2) 学園の建学の精神と教育目標

本学園は、近畿大学創業者世耕弘一先生の説かれた「教育の目的は、人に愛される人、人に信頼される人、人に尊敬される人の育成にある」を建学の精神として、他人や自然を思いやる、いわゆる「共生の心」を備えた人材の育成を目的としています。

この建学の精神を具現化するために、次のような教育目標をかかげております。

第1は、「人間は人間だけで生きているのではなく、他の生命とともに、生かされているという認識をもつこと、そしてこの思想を推進するための実践力を培う」

第2は、「専門職業人としての基本的な倫理観を身につけるとともに思いやりの心を培う」

第3は、「専門職に必要な基礎的知識及び技術を修得するとともに、創造性を培う」

第4は、「社会・歴史に対する深い洞察力を身につけるとともに、豊かな人間性を培う」

第5は、「国際社会に適応しうる感性を育み異文化を理解しうる人を培う」

II 事業計画の概要

(1) 予算編成の基本方針

平成31年度予算編成における基本方針とその概要について

平成30年11月14日

弘徳学園 法人本部

○平成31年度予算編成の基本方針

私立学校をめぐる環境は、少子化による18歳人口の減少が続き、大学間の学生募集活動は熾烈を極めており、また、地球温暖化などの異常気象などがもたらす大きな環境変化など様々な諸問題により、私立学校の経営環境はこれまで以上に大変厳しい状況となっております。こうした状況下にあって、学園が、本来の目的である教育と研究を永続的に維持し、かつ教育の質の保証を図るためには、学園経営における「健全な財政の維持と発展」を目指すものでなければなりません。そのことは、中・長期的な財政予測を踏まえた予算編成なくして実現できません。

もとより、予算編成の基本は、予算編成の過程において、各所管の意見がよく反映され、教育研究活動とその他の諸活動の計画が一体化した取組みが重要であり、諸活動のすべての領域を包含することに留意し、学生生徒等納付金を中心とする収入予算の編成についても、入学者の動向をよく見極め、実態に即した予算を編成することに心がけなければなりません。

上記のような観点から、平成31年度の事業予算を含めた「学園全体の支出予算は、収入予算の範囲内」に抑えること、累積赤字の圧縮にむけ単年度収支の改善に努めることを目標とし、特に教育・研究経費に重点配分を行いながら、「収支の均衡」と「冗費の削減」を十分に考慮のうえ、「学校法人会計基準」、「勘定科目処理要領及び細則」に準拠した予算を編成することを基本方針とします。

なお、今日の学校経営は、財務情報はもちろんのこと、教育情報の公開が義務付けられ、経営の透明性と説明責任がより一層問われる時代であり、こうした時代の要請に応え得る予算を編成することが重要であります。

事業計画予算

- 教育研究と教育環境の充実に配慮
- 施設等の安全性確保に配慮
- 学園の将来構想を基礎として計画
- 緊急性、重要性、収支のバランスに配慮

収入予算

- 学生生徒等納付金については、在籍学生数見込を基礎に計上
- その他の収入科目については、実績見込み等勘案して計上

経常的経費の支出計画

- 収支の均衡と冗費の削減を予算編成の基本とする
- 物品調達等の重要性及び必要性及び緊急性を検討する
- 収入予測を超過しない経常的支出の計画を基本とする

(2) 主な事業の目的・計画等

① 2019年度事業計画に係る経費は下記別表のとおりです。

別 表

(単位：千円)

事業No.	対象学校	事業名	予算額
31- 1	姫路大学	姫路大学硬式庭球部運営および遠征業務委託費	15,000
31- 2	姫路大学	姫路大学看護学研究センター（仮称）の設立	14,700
31- 3	姫路大学	姫路大学看護師等国家試験対策	11,200
31- 4	姫路大学	姫路大学ホームページのリニューアル	7,128
31- 5	豊岡短期大学	豊岡短期大学ブロック塀改修工事	5,187
31- 6	姫路大学	姫路大学入学前教育の実施	3,591
31- 7	姫路大学	姫路大学大学院博士後期課程開設年次備品等整備事業	3,504
31- 8	豊岡短期大学	2019年度豊岡短期大学公開講座の実施	3,337
31- 9	姫路大学	姫路大学海外協定校の視察調査	2,760
31- 10	豊岡短期大学	豊岡短期大学通信教育部教務システム（TtLeS）改修	2,619
31- 11	姫路大学	姫路大学教員採用試験に伴う対策講座及び学生支援	2,481
31- 12	豊岡短期大学	豊岡短期大学和花季会館多目的ホール空調機冷却水洗浄工事	1,970
31- 13	豊岡短期大学	豊岡短期大学「こどもフェスタ」（姫路キャンパスこけら落とし講演）の開催	1,940
31- 14	姫路大学	姫路大学通学部教務システムバージョンアップ作業支援・再カスタマイズ	1,836
31- 15	姫路大学	姫路大学1号棟手洗いハンドドライヤー取付工事	1,650
31- 16	姫路大学	姫路大学通信教育課程教務システム改修	1,500
31- 17	姫路大学	姫路大学看護学部成人看護実習室洗髪台の改修工事	1,077
31- 18	豊岡短期大学	豊岡短期大学通信教育部教務システム（TtLeS）改修（2018年度事業の付替）	1,026
31- 19	姫路大学	姫路大学スクールバスの入替	1,011
31- 20	豊岡短期大学	豊岡短期大学「和花季ひろば」の開催	1,001
31- 21	姫路大学	2019年度姫路大学看護学部主催市民公開講座の実施	993
31- 22	豊岡短期大学	豊岡短期大学高圧設備機器不良 第3期修繕（全5期）	785
31- 23	姫路大学	姫路大学看護学部「ナーシング・スキル日本版」によるeラーニング導入	745
31- 24	姫路大学	人文学・人権教育研究所 学術雑誌『翰苑』発行	550
31- 25	姫路大学	姫路大学安否確認システム導入	432
31- 26	豊岡短期大学	豊岡短期大学「こどもフェスタ2019」の開催	343
31- 27	姫路大学	人文学・人権教育研究所主催講演会・シンポジウムの実施	194
31- 28	姫路大学	人文学・人権教育研究所主催学術講座の開講	162
事業合計			88,722

② 2019年度事業計画に係る事業の概要説明

(31-1) 姫路大学硬式庭球部運営および遠征業務委託

姫路大学では硬式庭球部の強化に力を入れており、2017年に関西学生リーグ1部へ昇格。2018年度は国体にも出場し、年々活躍の場を広げております。本年度も引き続き運営と海外遠征も含めた業務を委託し、育成選手の強化を図る計画です。

(31-2) 姫路大学看護学研究センター（仮称）の設立

姫路大学では、地域で生活している成人・高齢者や障害児・者のQOL（Quality of life）の向上を目指した研究及び支援活動を行うため、看護学研究センター（仮称）の設立を検討しております。地域向け公開講座や研究者向け公開シンポジウムの開催など、他団体の実施プログラムへの支援・協賛を行う計画です。

(31-7) 姫路大学大学院博士後期課程開設年次備品等整備事業

昨年度専攻課程の変更認可申請を行ってまいりました、大学院博士後期課程の認可を2018年11月に受けました。認可に伴い開設年次の備品等整備について、申請内容に則り行います。

(31-9) 姫路大学海外協定校の視察調査

姫路大学看護学部では、国際的動向に関心を持ち、グローバルな視点から看護職者としての役割を理解し、行動できる基礎的能力を身につけることを教育目標に掲げております。将来的に海外の学校と協定を結び、国際化社会に適した人材育成を目指し、本年度は視察調査を行う計画です。

>> 施設設備等に関する事業

姫路大学整備関係事業

(31-4) 姫路大学ホームページのリニューアル

現在使用しているホームページ更新用ソフトウェアのサポートが終了し、今後の運用に支障をきたすため、ホームページのリニューアルを行う計画です。

(31-14) 姫路大学通学部教務システムバージョンアップ作業支援・再カスタマイズ

姫路大学通学部の教務システムのバージョンアップに伴う改修を行います。

(31-15) 姫路大学1号棟手洗いハンドドライヤー取付工事

衛生に対する意識付け及び感染予防の観点から、1号棟にもハンドドライヤーの取付けを行う計画です。

(31-16) 姫路大学通信教育課程教務システム改修

姫路大学通信教育課程では、教育職員免許法及び同施行規則の改正に伴うカリキュラム等の変更に対応するため、現行の教務システムを改修する計画です。また、学生サービス向上の観点から、システムのオープン化を進め、対応ブラウザについても対応範囲を広げる計画です。

(31-17) 姫路大学看護学部成人看護実習室洗髪台の改修工事

看護学部の臨床実習の現場において、実習学生の様々な技術のレベル向上が求められており、限られた現場実習の中でより良い学習効果を得るため、自己練習が可能な設備の整備が必要となっております。本年度は成人看護実習室に設置されている手洗い台を洗髪台へ改修し、学習環境の向上を図る計画です。

(31-19) 姫路大学スクールバスの入替

姫路大学が現在使用しているスクールバスは、経年劣化が進み、また、車両修理部品も入手困難になっているため、新型車両のスクールバスに入替をする計画です。

(31-25) 姫路大学安否確認システム導入

近年多発している大規模災害などの際に、学生・教職員の安否をスムーズに確認し、迅速な対応を行う体制を整えるため、安否確認システムの導入を計画しています。

豊岡短期大学整備事業

(31-5) 豊岡短期大学ブロック塀改修工事（補助金対象事業）

文部科学省からの「学校施設におけるブロック塀等の安全点検等状況調査について（依頼）」に基づき点検を行った結果、豊岡短期大学に設置されているブロック塀は既存不適格であったため、改修工事を行う計画です。

(31-10) 豊岡短期大学通信教育部教務システム（TtLes）改修

(31-18) 教育職員免許法・同施行規則の改正や改元に伴う教務システムの改修を行う計画です。

(31-12) 豊岡短期大学和花季会館多目的ホール空調機冷却水洗浄工事

豊岡短期大学和花季会館の空調設備は、経年劣化に伴い機能低下が著しい状況であり、部品交換等を行い対応しているところです。本年度は冷却水の洗浄工事を行い、猛暑日への対処を図る計画です。

(31-22) 豊岡短期大学高圧設備機器不良 第3期修繕（全5期の3）

豊岡短期大学の高圧電気設備は、30年以上使用し経年劣化が激しく、年次計画として設備の入替を計画しており、本年度は第3期工事を行う計画です。

>>学生のキャリア支援に関する事業

(31-3) 姫路大学看護師等国家試験対策

看護学部では、看護師、保健師、助産師の国家試験合格率100%を目指し、看護学部3年生および4年生の全学生を対象として、集中講義ゼミや模擬試験をきめ細かく行うとともに、学生の学習進度に応じ、補講や個人指導などを行っていく計画です。

(31-6) 姫路大学入学前教育の実施

姫路大学では、入学生に対し、個々の基礎学力を高め、入学後の学習をスムーズに進めることを目的に、学部ごとに特化したプログラムで入学前教育を行う計画です。

(31-11) 姫路大学教員採用試験に伴う対策講座及び学生支援

教育学部では、引続き教員採用試験本試験を見据え、筆記試験対策のみでなく、面接指導、模擬授業指導を行い、試験日直前まで弱点補強に努め、きめ細かな学生支援を行っていく計画です。

また、遠方での受験に対して、学生の経済的負担軽減の観点により、引続き交通費の補助を行う計画です。

(31-23) 姫路大学看護学部「ナースィング・スキル日本版」によるeラーニング導入

高度な看護技術が求められるなか、本学においても授業、実習だけでなく、専門領域の最新知見や教育・看護管理などの知識を学習することができる機会を提供し、学生の主体的な学習の促進と、復習効果や適切な看護技術の獲得を目的として、eラーニングシステムの導入を計画しています。

>>学術・研究関連事業

姫路大学「人文学・人権教育研究所」の活動計画

研究所では、学術雑誌の発行、学術講座及び実技参加型のワークショップ等を開講する計画です。

(31-24) 学術雑誌「翰苑」を研究成果の公開を目的に発行しています。

(31-27) 地域住民を対象とした学術講座「宮沢賢治作品を読む」「古文書入門」など

(31-28) の開講と、人文学と人権に関する教育講演会などを開催する計画です。

>>地域貢献等を目的とする事業

(31-8) 2019年度豊岡短期大学公開講座の実施

豊岡短期大学では文化事業の貢献を目的として、本年度も音楽リサイタルと、パソコン講座を開催する計画です。

(31-13) 豊岡短期大学「こどもフェスタ」の開催

本年度より豊岡短期大学姫路キャンパスが開設となります。姫路キャンパスの近隣地域の教育機関等に開設の周知を図るとともに、豊岡キャンパスとの相互交流の場とすること等を目的に、姫路にて「こどもフェスタこけら落とし公演」の開催を計画しています。

(31-26) また、豊岡キャンパスにおいても、地域の子どもの対象に「こどもフェスタ」の開催を計画しています。

(31-20) 豊岡短期大学「和花季ひろば」の開催

豊岡短期大学では本年度も「育ちあいのなかまづくり」で但馬地域の子どもたちと保護者、本学学生が集い、学習の成果発表を行い、「食のフェア」では地産地消をテーマに地元の魅力ある食を地域住民とともに楽しむ催し物を計画しています。

(31-21) 2019年度姫路大学看護学部主催市民公開講座の実施

大学の地域貢献と知の開放の実践のため、看護学部主催で市民公開講座を開催する計画です。本年度は、看護学部で複数教員が取り組んでいる、障がいがある人への支援・ケアに関連する研究に関する講座を開催し、この問題への関心と理解を深める機会を提供します。

③ 経常的経費による活動

- ・ 姫路大学と豊岡短期大学では、授業料等を減免する形で、様々な奨学金制度を設け、学生の就学サポートを行っています。
- ・ 認定こども園では、外国人講師と常時接することにより、幼児期からのバイリンガル教育を行い、広く国際感覚を育成しています。
また、茶道を保育に取り入れ「和の文化」にも触れ、礼儀作法を身に付けるなど特色ある教育・保育を行っています。
機能的な園舎にて、地域子育て支援事業、スクーリング預かり保育等の子育てに関する支援事業を行う予定です。

(3) 学園の将来構想

本学園における将来構想は、次の通りです。

姫路大学教育学部 学科改編（通学・通信）構想

Ⅲ 財務の概要

(1) 予算の概要

① 資金収支予算の状況

(単位：千円)

収入の部	2019年度予算	H30年度予算(補正)	増 減	参考値(H29年度決算)	2019年度予算概要
学生生徒等納付金収入	2,105,510	1,985,149	120,361	2,164,232	・授業料、入学金等の納付金
手数料収入	55,331	53,517	1,814	48,962	・入学検定料等の手数料
寄付金収入	0	0	0	11,000	
補助金収入	434,957	413,042	21,915	455,668	・私立大学等経常費補助金他
資産売却収入	0	0	0	1	
付随事業・収益事業収入	13,159	13,012	147	13,150	・補助活動収入他
受取利息・配当金収入	43	43	0	41	・受取利息
雑収入	13,045	42,275	△29,230	47,526	・コピー代等その他の雑収入
借入金等収入	0	0	0	0	
前受金収入	373,248	361,623	11,625	366,179	・翌年度の学生生徒等納付金
その他の収入	54,337	71,153	△16,816	57,949	・預り金、前期末未収入金他
資金収入調整勘定	△363,178	△388,834	25,656	△470,720	・前期末前受金、期末未収入金
前年度繰越支払資金	1,243,545	1,582,768	△339,223	1,726,763	・前年度末の現金預金
収入の部合計	3,929,997	4,133,749	△203,752	4,420,750	

支出の部	2019年度予算	H30年度予算(補正)	増 減	参考値(H29年度決算)	2019年度予算概要
人件費支出	1,722,509	1,853,265	△130,756	1,923,281	・本俸、賞与、諸手当、福利費等
教育研究経費支出	743,561	674,469	69,092	637,313	・教材等教育研究にかかる経費
管理経費支出	269,900	285,934	△16,034	258,220	・学生募集経費等管理的経費
借入金等利息支出	0	0	0	0	
借入金等返済支出	0	0	0	0	
施設関係支出	2,754	0	2,754	0	・建物等施設に関する支出
設備関係支出	10,072	28,932	△18,860	21,728	・機器備品等設備に関する支出
資産運用支出	0	0	0	0	
その他の支出	164,134	173,282	△9,148	137,328	・前期末未払金の支払等
予備費	10,000	10,000	0	0	・予備費
資金支出調整勘定	△131,134	△135,679	4,545	△139,889	・期末未払金等
翌年度繰越支払資金	1,138,201	1,243,545	△105,344	1,582,768	・翌年度に繰越す現金預金
支出の部合計	3,929,997	4,133,749	△203,752	4,420,750	

※ 千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

※ 資金収支とは

当該会計年度における諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容と当該会計年度における支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするためのものであり、1年間のお金の動きを網羅したものであります。

② 事業活動収支予算の状況

(単位：千円)

		科目	2019年度予算	H30年度予算(補正)	増減	参考値(H29年度決算)	2019年度予算概要
教育活動収入の部	事業活動収入	学生生徒等納付金	2,105,510	1,985,149	120,361	2,164,232	・授業料、入学金、実習料等の納付金
		手数料	55,331	53,517	1,814	48,962	・入学検定料等の手数料
		寄付金	0	388	△388	11,859	
		経常費等補助金	433,409	413,042	20,367	455,668	・国庫補助金等(施設整備関係除く)
		付随事業収入	13,159	13,012	147	13,150	・補助活動収入他
		雑収入	13,045	41,153	△28,108	47,524	・コピー代等その他の収入
		教育活動収入計	2,620,454	2,506,261	114,193	2,741,395	◎経常的な教育活動に関する事業活動収入
教育活動支出の部	事業活動支出	人件費	1,769,876	1,873,578	△103,702	1,947,955	・本俸他、退職給与引当金繰入額
		教育研究経費	1,008,971	937,047	71,924	909,488	・教材等教育研究経費及び減価償却
		管理経費	312,240	328,274	△16,034	300,765	・教研費以外の管理経費と減価償却
		徴収不能額等	0	0	0	0	
		教育活動支出計	3,091,087	3,138,899	△47,812	3,158,207	◎経常的な教育活動に関する事業活動支出
		教育活動収支差額	△470,633	△632,638	162,005	△416,812	教育活動における事業活動収入と支出の差額
		経常収支差額	△470,590	△632,595	162,005	△416,771	特殊要因を除いた経常的な事業活動収入と支出の差額
教育活動外収入の部	事業活動外収入	受取利息・配当金	43	43	0	41	・預金利息他
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	
		教育活動外収入計	43	43	0	41	◎経常的な財務活動に係る事業活動収入
教育活動外支出の部	事業活動外支出	借入金等利息	0	0	0	0	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	
		教育活動外支出計	0	0	0	0	◎経常的な財務活動に係る事業活動支出
	教育活動外収支差額	43	43	0	41	財務活動における事業活動収入と支出の差額	
特別収入	資産売却差額	0	0	0	0		
	その他の特別収入	1,548	6,443	△4,895	9,592	・施設設備整備に係る補助金	
	特別収入計	1,548	6,443	△4,895	9,592	◎特殊な要因による臨時的な事業活動収入	
特別支出	事業活動外支出	資産処分差額	343	1,531	△1,188	2,387	・固定資産の除却・廃棄損
		その他の特別支出	0	0	0	0	
		特別支出計	343	1,531	△1,188	2,387	◎特殊な要因による臨時的な事業活動支出
	特別収支差額	1,205	4,912	△3,707	7,205	◎特別収支の事業活動収入と支出の差額	
	[予備費]	10,000	10,000	0			
	基本金組入前当年度収支差額	△479,385	△637,683	158,298	△409,566	◎事業活動収入と支出の差額と等しい	
	基本金組入額合計	△10,296	△27,127	16,831	△16,179	・第1号基本金及び第4号基本金	
	当年度収支差額	△489,681	△664,810	175,129	△425,745		
	前年度繰越収支差額	△3,010,761	△2,345,951	△664,810	△1,920,205		
	基本金取崩額	0	0	0	0		
	翌年度繰越収支差額	△3,500,442	△3,010,761	△489,681	△2,345,951		
(参考)							
	事業活動収入計	2,622,045	2,512,747	109,298	2,751,028		
	事業活動支出計	3,101,430	3,150,430	△49,000	3,160,594		

※ 千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

※事業活動収支とは

学校法人会計基準の一部改正に伴い、平成27年度決算より「消費収支予算書」から様式を変更して作成することとなった予算書が、「事業活動収支予算書」です。この、事業活動収支は、当該会計年度の学校法人の負債とならない収入を事業活動収入とし、当該会計年度において消費する資産や役務の対価の合計を、事業活動支出として、事業活動区分ごとの収入と支出の内容を明らかにし、基本金組入後の収支均衡の状態を明らかにすることを目的として作成するものです。事業活動の区分は、経常収支と特別収支に区分され、経常収支は、教育活動収支（特別収支と教育活動外収支を除くすべての収支）と教育活動外収支（経常的な財務活動等）で構成され、特別収支は、特殊な要因により発生する臨時的な事業活動収支を計上することになっています。

事業活動区分ごと… 教育活動収支と教育活動外収支の経常収支と前記以外の特別収支の区分

③ 予算概要の説明

資金収支予算について

2019年度の資金収支予算は、平成30年度に引き続き、予算規模を圧縮しております。

<収入予算>

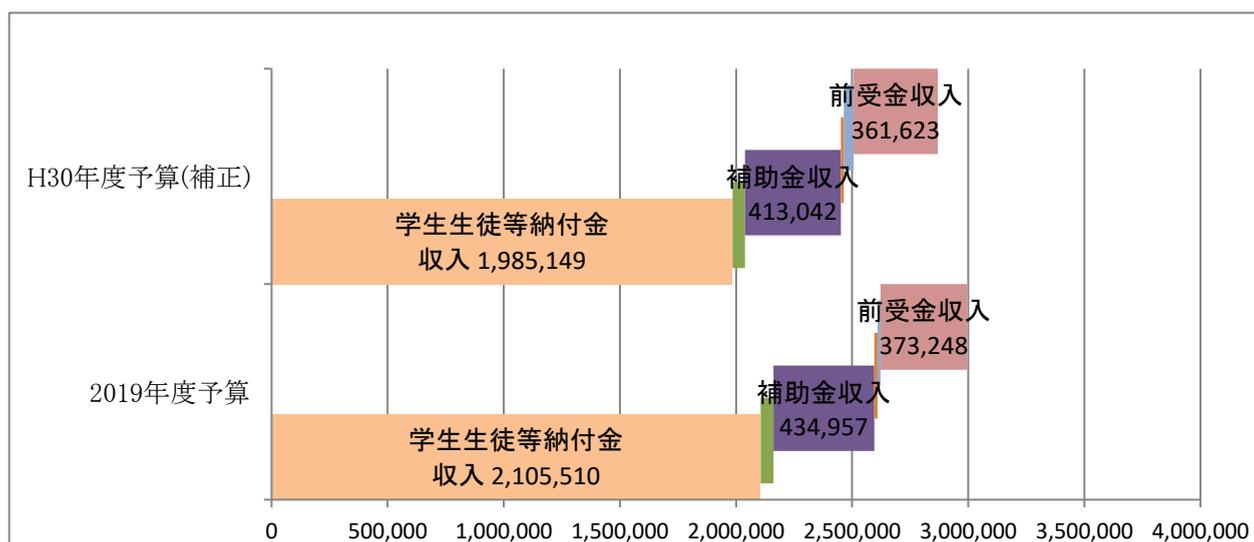
在籍学生数の増加予測のため、前年度予算から学生生徒等納付金は1億2千万円の増加を見込んでおり、手数料収入や補助金収入もあわせて増加予測であり、収入増の収入予測となります。

<支出予算>

教材・テキスト・国試対策などの教育研究経費に重点をおき、加えて経年劣化と老朽化による施設・設備等の更新や修繕経費の見積もりをするとともに、人件費と冗費の削減を勘案して、支出予算を計上しています。

よって2019年度資金収支予算における翌年度繰越支払資金、いわゆる現金預金の保有見込額は、平成29年度決算から約4億4千5百万円の減少、前年度予算から1億5百万円の減少が見込まれ、11億3千8百万円となります。

資金収支収入予算における前年度予算のとの比較



単位：千円

事業活動収支予算書について

2019年度事業活動収支予算における経常収支差額（教育活動収支と教育活動外収支の差額の計）は、約△4億7千1百万円です。こちらに特別収支差額と予備費を加えた、基本金組入前当年度収支差額は、△4億7千9百万円の赤字となる予測です。

事業活動収支差額に基本金を組入した当年度収支差額も赤字で、約△4億9千万円となり、前年度の繰越収支差額を調整した翌年度繰越収支差額は、△35億円の累積赤字となる予測です。

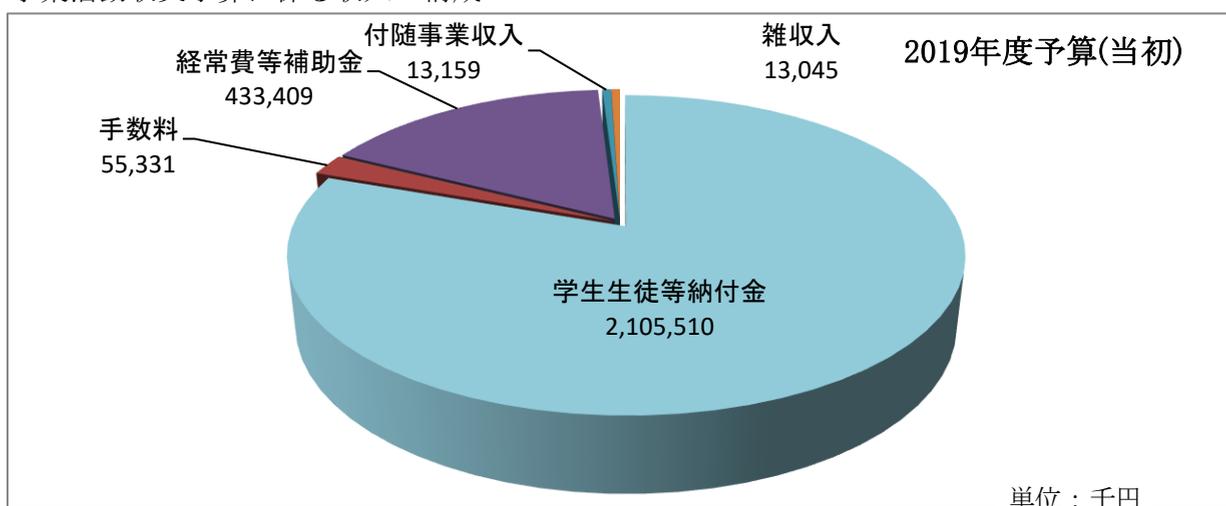
平成26年度決算までは、単年度の収支差額は黒字であったため、翌年度繰越収支差額いわゆる累積赤字を順調に圧縮してきましたが、平成27年度からは、姫路大学新2号棟建築の大型設備投資の支払計画等により、経費の増加と基本金の組入額が大きく、また、平成28年度から30年度は、在籍学生数の減少により学生生徒等納付金収入をはじめ収入全体が減少したため、単年度の赤字に加えて、累積赤字も大きく増加しています。

2019年度予算では、在籍学生数の見込数増加による収入の増加と、人件費をはじめとする経費の削減を計画しておりますが、単年度収支差額は赤字となる見込みです。

今後も定員の充足に努め、安定的な収入の獲得を図り、更なる冗費の削減なども行い、単年度の収支差額の赤字を解消し、累積赤字の圧縮に努めます。

構成図①

事業活動収支予算に係る収入の構成



事業活動収支予算における支出の構成

